

Small Voice ほそきこえ 細き聲 聖書研究

大いなる強き風山を裂き岩石を砕きしが風の中にはエホバ在さざりき、風の後に地震ありしが地震の中にはエホバ在さざりき。又地震の後に火ありしが、火の中にはエホバ在さざりき、火の後に静なる細微き声ありき。

列王記略上19:11、12 明治元訳聖書

日本学生宣教会

創世記
1章3節

† 聖書区分

第一部 世界と人間の創造 Gen. 1:1~11:26

一 世界の創造 Gen. 1:1~24

1 宇宙の創造 Gen. 1:1~2

2 創造の経緯 Gen. 1:3~2:4

a 第一日 Gen. 1:3~5

1:3 神は「光あれ」と言われた。すると光があった。 1:4 神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。 1:5 神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である。 口語訳聖書

† 日本語訳聖書 Gen. 1:3

【漢訳聖書】

Gen. 1:3 上帝曰、宜有光、即有光。

【明治元訳】

Gen.1:3 神光あれと言たまひければ光ありき

【口語訳】

Gen. 1:3 神は「光あれ」と言われた。すると光があった。

【新改訳改訂3】

Gen. 1:3 神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。

【新共同訳】

Gen. 1:3 神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。

【バルバロ訳】

Gen.1:3 神が「光あれ」と仰せられた。すると光ができた。

【フランシスコ会訳】

Gen.1:3 神は仰せになった、「光あれ」、すると、光があった。神はその光を見て善しとされた。

【詳訳聖書】

Gen.1:3 And God said, Let there be light; and here was light.

そして神は「光あれ」と言われた。すると光があった。

† 聖書引照 Gen.1:3

Gen.1:3 神光あれと言たまひければ光ありき

[神] 詩篇 33:6,9; 148:5; マタ 8:3; ヨハ 11:43

[光あれと言たまひければ光ありき] ヨブ 36:30; 38:19; 詩篇 97:11; 104:2; 118:27; イザ 45:7; 60:19; ヨハ 1:5,9; 3:19; II コリ 4:6; エペ 5:8,14; I テモ 6:16; I ヨハ 1:5; 2:8

† ヘブライ語聖書 Interlinear

Gen 1:3

:וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים יְהִי אוֹר וַיְהִי־אוֹר:

wayyō'mer 'ēlōhîm yəhî 'wōr wayəhî-'wōr:

And God said, Let there be light: and there was light.

	וַיֹּאמֶר	אֱלֹהִים	יְהִי	אוֹר	וַיְהִי־אוֹר:
	way yō mer	'ēlōhîm	yə hî	'ō wr,	way hî
	said	God	Let there be	light	and There was
	Then				The light

† ヘブライ語聖書 品詞色分け

Gen.1:3

וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים הִיא אוֹר וְהִיא אוֹר

† LXX Interlinear

Gen.1:3

καὶ εἶπεν ὁ θεὸς γενηθήτω φῶς καὶ ἐγένετο φῶς

And God said, Let there be light, and there was light.

καὶ	εἶπεν	ὁ θεός	γενηθήτω	φῶς	καὶ	ἐγένετο	φῶς
And	said	God,	Let there be	light,	and	there was	light.

† LXX 品詞色分け

Gen.1:3

καὶ εἶπεν ὁ θεός γενηθήτω φῶς καὶ ἐγένετο φῶς

† F・Josephus Antiquitates Judaicae

[27] γενέσθαι φῶς ἐκέλευσεν ὁ θεός.
God commanded that there should be light:
神は光に、「あらわれよ」と命じられた。

† ラテン語 Interlinear

Latin Vulgate

Gen.1:3

Dixitque Deus: Fiat lux. Et facta est lux.

And God said, "Let there be light." And light became.

Dixitque Deus:	Fiat	lux.	Et facta est	lux.
And God said,	"Let there be light."	And became	light.	

† 私訳 (詳訳) Gen. 1:3

【私訳】 「神は、『光があれ<ある>』と言われた。すると光があつた<ある>」

† 英語訳聖書 Gen. 1:3

King James Version

1:3 And God said, Let there be light: and there was light.

New King James Version

1:3 Then God said, "Let there be light"; and there was light.

American Standard Version

1:3 And God said, Let there be light: and there was light.

Bible in Basic English

1:3 And God said, Let there be light: and there was light.

Today's English Version

1:3 Then God commanded, "Let there be light"-and light appeared.

Darby's English Translation

1:3 And God said, Let there be light. And there was light.

Douay Rheims Bible

1:3 And God said: Be light made. And light was made.

Noah Webster Bible

1:3 And God said, Let there be light: and there was light.

World English Bible

1:3 God said, "Let there be light," and there was light.

Young's Literal Translation

1:3 and God saith, `Let light be:` and light is.

† 旧約聖書ヘブライ語語句研究

Gen.1:3

:נִאמַר אֱלֹהִים יְהִי אוֹר וַיְהִי־אוֹר:

【神は】 אֱלֹהִים エローヒーム 'elohiym {el-o-heem}' 普通名詞男複 @ncmpN [2602] <430>

- 1) 神、いと高き神 2) 神々 3) 主 4) 天使、御使い 5) 激しい、非常に、非常に大きい
6) 大いなる、卓越した、偉大な、力ある

「אֱלֹהִים エロヒーム」は複数形。語源は「אֵל エル」権力、権威を指す。

LXX

θεός てオス theos {theh'-os} 名詞

- 1) 神 2) 神性 3) 唯一の神

Latin Vulgate

Deus

- 1) 神 2) 神性

【光】 אוֹר オーレ 'ór {ore} 普通名詞男女単 @ncbsN [120] <215>

- 1) 光、稲妻、輝く 2) あけぼの、あける、夜明け、あらかわす 3) 日、日光、日ざかり、白昼 4) 顔の輝き

ヨブ 36:30; 38:19; 詩篇 97:11; 104:2; 118:27; イザ 45:7; 60:19; ヨハ 1:5,9; 3:19; II コリ 4:6; エペ 5:8,14; I テモ 6:16; I ヨハ 1:5; 2:8

LXX

φῶς ふオース phōs {foce} 名詞

- 1) 光、発光体 2) あかり、火、灯火 3) 昼の光、日の出、光、発光体、天体 4) 眼の光、心、理性、理解力

Latin Vulgate

lux

- 1) 光 2) 輝き 3) 明かり 4) 生命

【あれ】 הָיָה ハヤア hayah {haw-yaw} 動詞 Qal完3女単 @vqp3fsN [3576] <1961>

- 1) ある、いる、おられる、存在する 2) なる、臨む

niph 1) ある、2) 起こる 3) 成就する 4) なる 5) 装う

LXX

εἶμι エイミ eimi {i-mee} 動詞

- 1) ある、いる、～である、～です、～だ 2) 行われる、おこる、生る、現れる、来る 3) いる、滞在する、とどまる 4) 存在する 5) 生きている

γίνομαι ギノマイ ginomai {ghin'-om-ahee} 動詞

- 1) 存在するようになる、存在するにいたる、存在を始める 2) 生じる、生ずる、生まれる 3) 現れる、おこる、発生する、始まる、になる、ふりかかる、成る、登場する、来る 4) ～とされる、仕上げられる、作られる、行われる、なされる 5) 出る、起こる

Latin Vulgate

Sum

- 1) 存在する 2) ～である 3) いる 4) 起こる 5) 生じる

Fácio

- 1) なす 2) つくる 3) 建築する 4) 作成する 5) 実行する 6) 実現する 6) 果たす

【と】 𐤅 接続詞 @PcN [51275] <10012>

1) …と… 2) そして

【仰せになった】 𐤀𐤌𐤓 ウムル 動詞 Qal 継続 waw 3 男単) @vqw3msN [5390] <559>

1) 言う 2) 語る 3) 告げる 4) 呼ぶ 5) 答える

LXX

εἶπον エイポン eipon {iˈpon}

1) 言う、話す、語る、告げる、言いあわす、述べる、呼ぶ 2) 命じる、願う、尋ねる 3) ~と呼ぶ、称する 4) 語られたこと、言葉、発言、発話、話の内容 5) 出来事

Latin Vulgate

Dico, dictum

1) 言う 2) 述べる 3) 語る 4) 示す 5) 話す

【すると】 𐤅 接続詞 @PcN [51275] <10012>

1) …と… 2) そして

【光が】 𐤀𐤓𐤌 オーレ 'ôr {ore} 普通名詞男女単 @ncbsN [120] <215>

1) 光、稲妻、輝く 2) あけぼの、あける、夜明け、あわす 3) 日、日光、日ざかり、白昼 4) 顔の輝き
ヨブ 36:30; 38:19; 詩篇 97:11; 104:2; 118:27; イザ 45:7; 60:19; ヨハ 1:5,9; 3:19; II コリ 4:6; エペ 5:8,14; I テモ 6:16; I ヨハ 1:5; 2:8

LXX

φῶς ふオース phōs {foce} 名詞

1) 光、発光体 2) あかり、火、灯火 3) 昼の光、日の出、光、発光体、天体 4) 眼の光、心、理性、理解力

Latin Vulgate

lux

1) 光 2) 輝き 3) 明かり 4) 生命

【あった】 𐤇𐤕𐤁 ハヤア hayah {haw-yaw} 動詞 Qal 完 3 女単 @vqp3fsN [3576] <1961>

1) ある、いる、おられる、存在する 2) なる、臨む

niph 1) ある、2) 起こる 3) 成就する 4) なる 5) 装う

LXX

εἶμι エイミ eimi {iˈmee} 動詞

1) ある、いる、～である、～です、～だ 2) 行われる、おこる、生る、現れる、来る 3) いる、滞在する、とどまる 4) 存在する 5) 生きている

γίνομαι ギノマイ ginomai {ghinˈom-ahee} 動詞

1) 存在するようになる、存在するにいたる、存在を始める 2) 生じる、生ずる、生まれる 3) 現れる、おこる、発生する、始まる、になる、ふりかかる、成る、登場する、来る 4) ~とされる、仕上げられる、作られる、行われる、なされる 5) 出る、起こる

Latin Vulgate

Sum

1) 存在する 2) ~である 3) いる 4) 起こる 5) 生じる

Fácio

1) なす 2) つくる 3) 建築する 4) 作成する 5) 実行する 6) 実現する 6) 果たす

† 細き聲 聖書研究ノート

<神光あれと言たまひければ光あり>

原初の世界はいまだ形なく混沌としていた。神の霊がその表面を覆い（舞う）秩序ある混沌であった。神は「光がある」と仰せられると光があった。

<創造の経緯 Gen. 1:3~2:4>

Gen. 1:3~2:4 は「創造の経緯」が語られる。

第一日 光の創造、光と闇の区別 Gen. 1:3~5

第二日 大空の創造 大空の下の水と上の水の区別 Gen. 1:6~8

第三日 陸と海 植物 Gen. 1:9~13

第四日 光るもの 昼と夜の区別 太陽と月と星 Gen. 1:14~19

第五日 海の生き物と空の鳥 Gen. 1:20~23

第六日 地と野の獣 人間 Gen. 1:24~31

第七日 わざの完成 安息 Gen. 2:1~3

<創造の七日間>

創造の7日間については、24時間の1日、ある長い期間、創造の順序、啓示の日など、多くの解釈がなされている。しかし、いずれの解釈にも問題があり、一つを選ぶことは困難である。

創世記1~3章は人間の創造に関する神の言葉であって、宇宙の成り立ちや発生のメカニズムを解説することを目的にしたものではない。人間の存在との関わりにおいて語られる天地創造であり、また、未だ科学的知識の深くない時代から現代に至るすべての人間が読むことを目的に伝えられた神の言葉であるとの立場から全体的な理解がなされるべきところである。

<神光あれと言たまひければ光ありき>

「光あれ **אֵל** ハヤア」は「光があった **אֵל** ハヤア」と同形なので、直訳で「神は、『光がある』と言われた。すると光がある」と読むことができる。

「太初に言あり、言は神と偕にあり、言は神なりき。この言は太初に神とともに在り、萬の物これに由りて成り、成りたる物に一つとして之によらで成りたるはなし」 ヨハネ1:1~3 明治元訳聖書

神の言葉は創造の力である。神が「光よあれ」と言われると、言葉は仕事をし、言葉と寸分変わらぬ実体を生ぜしめ、言葉は出来事となった。

創造の初めに「ことば **ロゴス**」あり、「ことば **ロゴス**」は「神とともにあり」、「ことば **ロゴス**」は神であった。人はこの「神のことば **ロゴス**」によって創造された。

<光あれ>

創造の始めに、「地は形なく、何もなかった」、ただ、「やみが大いなる水の上にあり」、「神の霊が水の上を動いていた」。(創世1:1 新改訳聖書) その時、神が「光よあれ」と言われると「光があった」。

この「光」は、自然界の光であるとともに、「人を照らすまことの光」(ヨハネ1:1~8)を意味するものである。ヨハネによれば、「神のことば **ロゴス**」に「いのち」があり、この「いのち」は「人の光」であった。(ヨハネ1:4)

創造の初めに、神はいのちを育み照らす「根源的な光」を創造された。

「そはいのちの泉はなんちに在り われらはなんちの光によりて光をみん」 詩篇36:9 明治元訳聖書

<光の創造>

創世記1:3は宇宙の始まりと形成に深くかかわる「光」についての言及であると思われる。

物理学においては「光」は目に見える光(可視光)に加えて、目に見えない光(電波、赤外線、紫外線、X線(あるいはガンマ線)も含まれる。

光はいのちを生み出すエネルギーであり、また時と空間を明らかにする。宇宙は光に満ちている。

† 心のデボーション

「神光あれと言たまひければ光ありき」 創世 1:3 明治元訳聖書
「神は仰せになった、『光あれ』、すると、光があった」 フランシスコ会訳聖書

「神の御言葉」

神が「光がある」と言われると、見よ、「光がある」。(創世 1:3)
イエスの弟子たちはどの町や村でも家に入るとき、「平安を祈るあいさつ」をするように命じられた。その家が「祈り」にふさわしければ「平安」はその家に来るが、ふさわしくなければ「平安」は弟子たちのところに返ってくと教えられている。(マタイ 10:11~13)
弟子たちの口からでた「祈りの言葉」がむなしくは消えないように、神の口から出た言葉はそれを成し遂げずに戻ることはない。
「如此わが口よりいづる言もむなしくは我にかへらず わが喜ぶところを成し わが命じ遣りし事をはたさん」 イザヤ 55:11 明治元訳聖書

† 心のデボーション

「神光あれと言たまひければ光ありき」 創世 1:3 明治元訳聖書
「神は仰せになった、『光あれ』、すると、光があった」 フランシスコ会訳聖書

「深くて測り知れないこと」

「神は、深くて測り知れないことも、隠されていることもあらし、暗黒にあるものを知り、ご自身に光を宿す」
ダニエル 2:22 新改訳聖書
神は御自身に光を宿される。「光は御もとに宿る」新共同訳聖書
隠されたことをあらし「光」が神のうちに宿っている。「光」は神のうちから出て、「深くて測り知れないこと、隠されていること」を現わし給う。
「神は暗黒の深い底をあらわにし、死の闇を光に引き出される」 ヨブ 12:22 新共同訳聖書

† 心のデボーション

「神光あれと言たまひければ光ありき」 創世 1:3 明治元訳聖書
「神は仰せになった、『光あれ』、すると、光があった」 フランシスコ会訳聖書

「御言葉による創造」

神は御言葉によって天と地を創造された。天地を創造した御言葉が「私」と「私の日常」を形造る。(イザヤ 55:11)
無意味なものは一つとしてない。

† 心のデボーション

「神光あれと言たまひければ光ありき」 創世 1:3 明治元訳聖書
「神は仰せになった、『光あれ』、すると、光があった」 フランシスコ会訳聖書

神は「形なく、何もない地」に「光」を創造された。宇宙はエネルギーを生じた。
聖書が宇宙に見ているのはいのちのない死の世界ではない、いのちを育む世界である。(詩篇 56:13)

「命の泉はあなたにあり、あなたの光に、わたしたちは光を見る」 詩篇 36:10 新共同訳聖書

† 心のデボーション

「神光あれと言たまひければ光ありき」 創世 1:3 明治元訳聖書
「神は仰せになった、『光あれ』、すると、光があった」 フランシスコ会訳聖書

「黄金の光」

ヨブに対してエリフは語る。

「今、光は見えないが、それは雲のかなたで輝いている。やがて風が吹き、雲を払うと、北から黄金の光が射し、恐るべき輝きが神を包むだろう」 ヨブ 37:21~22

人間は神を見ることはできない。しかし、風が吹き、雲を払うと、神を包む「黄金の光」が輝く。それは「雲のかなた」にあり、聖霊の風がそれを隠す雲を吹き払う。

† 心のデボーション

「神光あれと言たまひければ光ありき」 創世 1:3 明治元訳聖書

「神は仰せになった、『光あれ』、すると、光があった」 フランシスコ会訳聖書

「神は、深くて測り知れないことも、隠されていることもあらし、暗黒にあるものを知り、ご自身に光を宿す」
ダニエル 2:22 新改訳聖書

「事を隠すは神の榮譽なり」 箴言 25:2 明治元訳聖書

「人間のいのち」

人間は地球に届く光によって宇宙を探り、そこに神の創造された広がりが見られていることを知った。

聖書は宇宙の広がりについてを明らかにするよりも、一人の人間のいのちの創造を見つめる。あたかもそれは一人の人間のいのちが宇宙の広がりによって神の関心であることを示すかのようである。

我々は、隠されたことから、現されたことの意味を知るのである。

† 細き聲 説教

「やみと光」

「地は定形なく曠空くして黒暗淵の面にあり神の靈水の面を覆たりき 神光あれと言たまひければ光ありき」
創世1:2~3

序

創造の初め、地は形なく、やみが大なる水の上にあった。秩序なく、混沌としていた。神が「光よあれ」と仰せられると「光」が生じた。神は光とやみを区別された。

1 やみと光

地はやみにおおわれ混沌としていた。神は「光よあれ」と仰せられ、光が創造された。

「わたしは光を造り出し、やみを創造し、平和をつくり、わざわいを創造する。わたしは主、これらすべてを造る者」 イザヤ45:7 明治元訳聖書

イザヤは「やみ」もまた、神の創造の御業であることを明らかにする。「やみ」も「光」も神の創造の御業である。

創世記1:3 は光の創造によって、「やみと光」を含む「時」と「空間」が、神の創造されるいのちの場として準備されたことを意味するのである。

人は人生に「形なく、何もない」混沌をみることがある。それは必ずしも「破壊」や「失敗」や「悪」の結果ではなく、深い意味と目的をもって神から来たものである。

「やみ」と「光」は対立する概念ではない。その一方を受け入れ、他方を拒むことは正しくない。むしろ、「やみ」

と「光」を対立するものとするところから人間の苦悩は始まる。やみの中に光があり、光の中にやみがあることを認めるところから心の開放が始まる。

人生から苦悩がなくなることはない。そして、「やみ」を切り裂く「光」もなくなることはない。

2 人生の禍い

ヨブは「禍い」に苦しんだ。人間はどの時代にも魂に「深いやみ」を抱えて生きるのである。ヨブが経験した「深いやみ」に、人は自身の「わざわい」を見出すだろう。

i 苦しみ

それはまず、「苦しみ」だった。(ヨブ3:3~10)

突然の崩壊、最愛の者の喪失、そして病苦がヨブを「深いやみ」に導いた。これらは今も人をとらえて放さない「やみ」である。

ii 死の不安

「深いやみ」は、ヨブに「死」の苦しみを与えた。(ヨブ10:21~22)

「死」は混沌への回帰だろうか。それとも、新しい意味への出発だろうか。

iii 希望の喪失

ヨブは「深いやみ」の中で、「私の望みはいったいどこにあるか」と問う。(ヨブ17:13~16) それは存在の意味への問いであった。「私の意味はどこにあるのか」という問いである。

3 光を創造される神

「主は直ぐな人たちのために、光をやみの中に輝かす。主は情け深く、あわれみ深く、正しくあられる」 詩篇112:4 新改訳聖書

私たちは人生の「深いやみ」の中に、「やみ」を引き裂く「光」のあることを知る。(ヨハネ1:5)

神は私たちを「やみの中から、御自分の驚くべき光に招かれる。(I ペテロ2:9)

ヨブは「深いやみ」を、神から来たものとして受容する。そして、魂に開放が始まったのである。神がヨブに「深いやみ」の意味をすべて明かされたのではない。意味は神にあり、ヨブはそれを「受容」したのである。これがヨブの「光よあれ」という解放の経験であった。

(皆川誠)